

鉄道ピクトリアル

2007年12月号 Vol.57 No.12 通巻No.797

<特集> DD13・14・15形

■表紙 都心の小運転牽引に従事するDD13形 ……伊藤 昭
板橋 1981-2-21

■グラフ

裏方の譜 (1~5 ページ)

久保 敏・岩田昌也・飯塚卓治・浜村正弘・小野雄一郎
和田康之・佐藤道博・萩原詳雄・相田俊幸・長谷佳敬

民鉄のDD13同系機 (6~8 ページ)

高橋 弘・真鍋裕司・飯塚卓治・早川淳一・星野 崇
長谷佳敬・戸塚光弘・北見 順・大里信之

*

都会にDD13がいた頃 ……写真: 福田静二ほか… 33
DD13・14・15形 形式集 ……構成: 編集部… 36
私鉄のDD13—雄別鉄道~京葉臨海鉄道— ……写真: 服部朗宏ほか… 42
D51その一族—1115分の1の素顔—(第91回) ……構成: 編集部… 46
京王電鉄 この夏の話 ……渡辺 紅… 48

*

Pictorial Color Gallery 会津秋彩 ……進藤 匡… 81

JR東日本E233系1000番代/JR北海道10月1日ダイヤ改正
開館直前鉄道博物館の報道公開/四国鉄道文化館まもなく
開館/JR信越線柿崎—柏崎間運転再開/JR高山線角川—
猪谷間運転再開約3年ぶりに全線復旧/10月1日養老開業
JR東日本豊田電車区の話/F1日本GPの臨時列車/リバ
イバルはくたか運転/江ノ電303編成さよなら撮影会ほか

84~89

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西) ……90
2007年越中おら風の盆の盆高山線臨時列車の話 ……杉下 浩生… 98
小田急電鉄の話/京王電鉄高尾線開業40周年 ……長内 宏ほか…101
宵闇のブラックプール ……金口 恭久…102
福山製鉄所の機関車 ……石本 祐吉…104

*

■本文

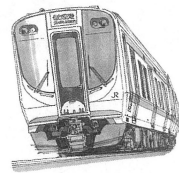
今月の話題: DD13・14・15形 ……編集部… 9
戦後の入換用ディーゼル機関車とDD13形 ……土岐 實光… 10
小さな凸の大きな功績 DD13形・DD15形 ……岩成 政和… 14
私鉄・専用線のDD13 Part1—雄別鉄道~京葉臨海鉄道— ……服部 朗宏… 49
DD13・14・15配置と運用の足跡—誕生から終焉まで— ……佐藤 繁昌… 56
〔DD13・14・15形車歴表 ……編集部, 作成協力: 佐藤繁昌… 68〕

*

ブラックプールのトラムの魅力 ……金口 恭久… 75
鉄道の話 ……編集部… 80
開館間近! 鉄道博物館レポート(第5回) ……白川 淳…105
製鉄所の鉄道—福山製鉄所を訪ねる ……石本 祐吉…106
私の鉄道人生75年史 第12回
新造車両輸送の仕事(その1) ……里田 啓…112
日本機械学会「機械遺産」に認定された2両の鉄道車両
……堤 一郎…116
9月のメモ帳 ……117
読者短信・情報ファイル ……118
後部車から ……123

ISSN0040-4047
Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット: 山本茂樹

DD13・14・15形

国鉄では戦後の復興とともに内燃機関の開発を再開し、ディーゼル動車が非電化区間に投入され輸送の改善が図られていった。内燃機関車も本線用として1953(昭和28)年に電気式のDD50、1957(昭和32)年にその流れを汲むDF50が新製されつつ、1950年代は標準形機関車開発に向けて試験が繰り返された。一方、貨物ヤードや車両基地などにおける入換は、B6をはじめとした明治・大正期の蒸機がもっぱら従事しており、わずかに1945(昭和20)年にアメリカ軍が持ち込んだ電気式8500(DD12)、さらに1954(昭和29)年に気動車の機関車を使って登場した液体式DD11が稼動するのみであった。こうした中、ディーゼル機関の開発も軌道に乗り、動力近代化の推進とともに本格的な入換用ディーゼル機関車としてDD13が1958(昭和33)年に新製されたのである。

DD13は当初首都圏を中心に使用され、入換用として安定した力を発揮した。以後、1967(昭和42)年に至るまで9年間、実に19次にわたり416両が新製され、全国各地で主に入換業務に活躍した。増備に際しては折々に技術改良が施され、バリエーションが豊富で、趣味の視点で概観しても興味は尽きない機関車となった。1960(昭和35)年以降、除雪用としてDD13の変形機DD14、改良機DD15も登場、また同時期、私鉄や専用線においてもDD13類型の機関車が多数投入され、大きな実績を挙げていった。国鉄末期、貨物の輸送システムの変化に伴い、ヤード入換が減少、DD13はJRへは継承されず、その歴史は国鉄時代でピリオドを打ったが、DD14・15形は今もJRで健在であり、一部の私鉄では国鉄から譲渡されたDD13が活躍する姿を今も見ることができる。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawa-
machi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan